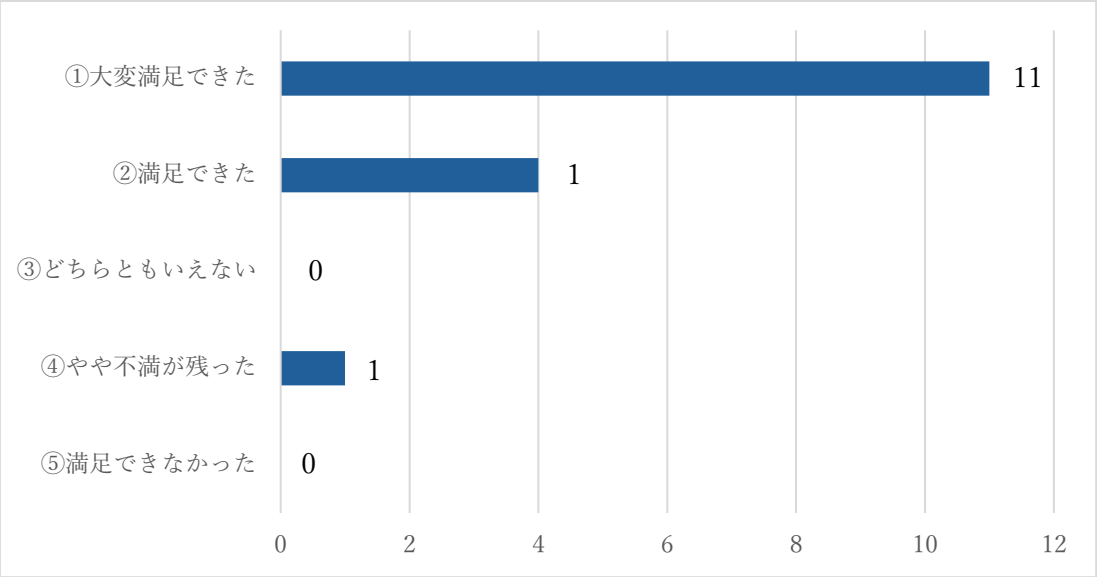
令和６年度能登半島地震復興支援セミナー 第６回 アンケート

【日時】令和６年８月 22 日
【開催】オンライン・オンデマンド
【タイトル】「災害時における薬剤師の活動 と再建・復興に向けた課題」
【講師】岡田 守弘　北陸大学 薬学部 実践実学系 准教授

1. 講演はいかがでしたか。



2. 設問３の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

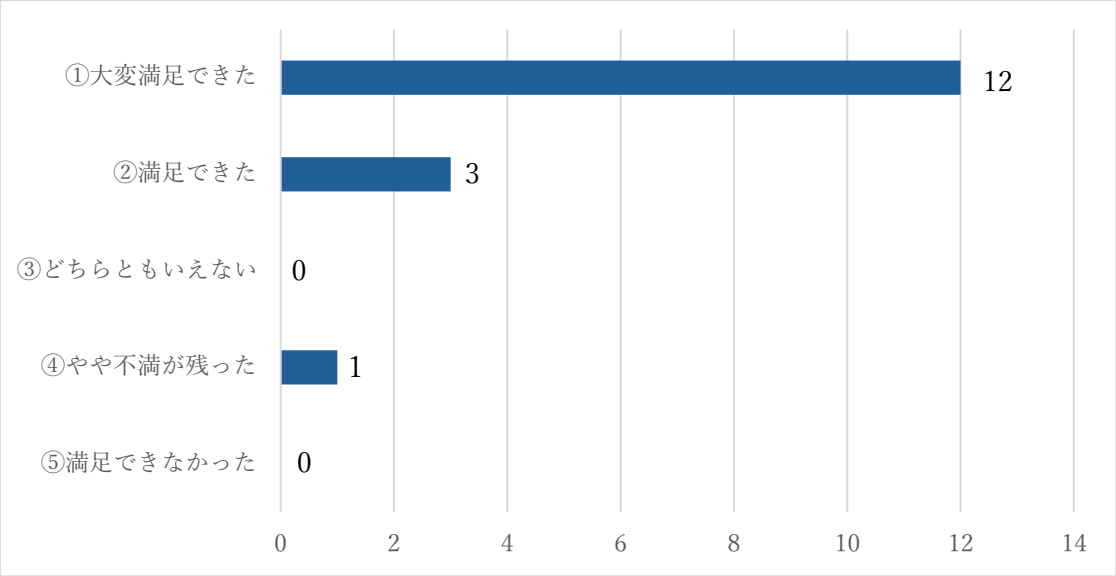
・災害時にあった実際の SOS とその対処法等も解説があり、非常に勉強になった。
・薬剤師による支援の一端がわかりやすく紹介されていたため。
・令和６年能登半島地震における薬剤師の活躍状況や医療に関する情報を知ることができました。
・災害時の薬について、特に特定の薬局や医療機関にしか供給していない薬が足りない場合の実際の対応事例を踏まえて知ることができたから。
・学会としての災害時支援について知ることができた。
・わかりやすいスライドとわかりやすい説明があったため
・知らなかったことを知ることが出来ました。多角な視点から物事をみる目と、条件下で何が出来るかを考える思考力、他分野との連携をはかるコミュニケーション能力など、様々な要素があり、大変学びになりました。中でも印象に残ったのは、
-専門的分野にわかれた多数の医療チームの存在

-モバイルファーマシー・災害薬事コーディネーターとしての役割
-薬の常温耐用について
です。ありがとうございました。
・薬剤師はあまり取り上げられることの少ないとこであり、実際に現地でどのような活動を行われたのかを知ることのできた良い機会だったから。
・多くの方の報告と特に変わった点もなく、特に新しい知見が得られなかった。

3. 設問5の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

・丁寧でわかりやすかった。
・明確でわかりやすかったから。
・質疑に対する応答が短く明確であったため
「患者力」を身につけていこうと思います。

4. 被災地の現状を知るため又は復興のために役立つものでしたか。



5. 今後、取り上げるべきテーマがありましたら、お書きください。

・南海トラフに向けて備えること(医療者として)
・被災者の常備薬管理意識などが災害前と災害後でどのような変化があったか。
・震災の土砂崩れ等で失った土地の測量や登記について
・一つの事象に対するものの見方を多角的な視点から掘り下げてみる
(例:「ある晴れた夏の朝」小手毬るい 著)

6. 本日の講演内容やセミナー運営等で、良かった点、不満足な点、感想、お気づきになった点などございましたら、ぜひお書きください。

・患者力を挙げられるような資料作成・機会も作っていけたらいいな等、これからの研究の題材になる貴重なお話を聞くことができました。大変勉強になりました。
・多面的に復興を支援してもらっていることがわかるセミナーを、今後も継続してほしいです。
回数を重ねるたびに、まちの様子が変わっていくと嬉しいです。
・石川県の LINE を使った広報は、関心がある人なら誰でも聴くチャンスが与えられるため、対象範囲が広がっていいと思いました。ありがとうございました。
・本日のご講演により能登半島地震での医療に関する実情等を拝聴でき、今後の災害時に向けての課題なども示唆されていました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
・薬剤師の視点からの活動をしれて良かったです。